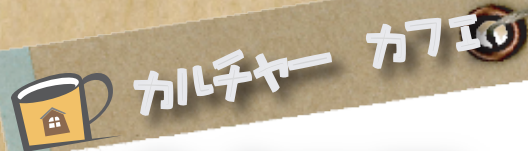


# 映画を通して フランスの歴史を知る



好評にこたえて  
第4回 言語、宗教、文化、芸術、etc.  
まとめてかじってみよう！

日時 **2月26日(土)**  
**PM.7:00~9:30**

講師 関西学院大学フランス語講師  
**大嶋 優氏**(翻訳家)

参加費 **1,000円** (ドリンク付)

## 映画『さよなら子供たち』

フランス革命から第二次世界大戦へ一足飛び。  
今回は、『死刑台のエレベーター』で知られるルイ・マル監督の  
自伝的映画、『さよなら子供たち』を取り上げます。  
無性に込み上げてくるこの悲しみは何でしょう？銃撃戦があるわけ  
でもなく、殺戮場面があるわけでもない。淡々と流れる疎開先のカト  
リック系寄宿学校での日常生活。突然ゲシュタポがやってくる。芽生  
え始めたジュリアンとボネの友情は無残にも引き裂かれる。戦争とい  
う不条理によって……

ラストは次のような言葉(声)で締め括られています。  
「ボネ、ネギュス、デュブレはアウシュヴィッツで死んだ。ジャン神父は  
アウトハウゼンで死亡。……40年余りの歳月が過ぎたが、わたしは死  
ぬまでこの1月の朝を忘れない」この1月の朝とは1944年1月の  
朝のことです。タイトルにもなっている「さよなら子供たち」は、ユダ  
ヤ人をかくまったかどでドイツ軍に連行されるジャン神父が、彼を見  
送る子供たちに向かって告げる別れの言葉。



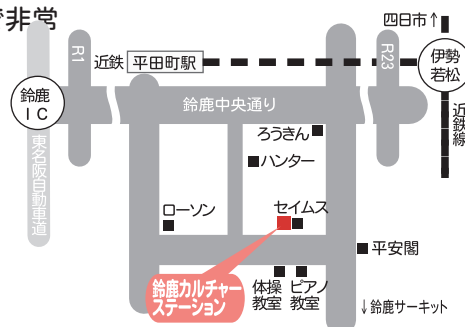
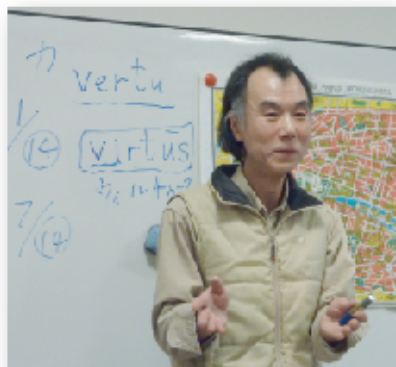
### 講師プロフィール

おおしま まさる 1950年 兵庫県生まれ  
フランスの出版社グリュンド社のもとで渉外、翻  
訳を担当。現在は関西学院大学、甲南大学で非常  
勤講師としてフランス語を教える。  
趣味 : 映画鑑賞

会場・お問合せ先

**SSS 鈴鹿カルチャーステーション**

鈴鹿市阿古曽町14-28  
TEL&FAX 059-389-6603  
HP <http://www.scs-3.org>  
E-mail [scsoffice@scs-3.org](mailto:scsoffice@scs-3.org)



アクセス 近鉄「平田町」駅より徒歩15分・駐車場あり